

真光寺川を再びきれいな流れにすることに力をかけて下さい

2011, 5, 16

真光寺川を清流にする会 世話人 山口拓郎

真光寺川を清流にする会は、2000年1月に発足したボランティアの会です。発足当時、真光寺川はビニール袋や粗大ごみが散乱するきたない川でした。私どもは、子供たちが遊べるきれいな流れにすることを願い、毎月第2日曜日を清掃作業日と定めひたすら作業を続けてまいりました。その甲斐もあって次第にきれいな川になってきました。今年で11年になります。

また、子供たちに川に親しんでもらいたいと2002年から毎年7月に「真光寺川まつり」を開催してきました。回を重ねる毎に夏のイベントとして定着し300名余りの親子連でにぎわうようになってまいりました。手作りの素朴なイベントですが、子供たちの「安全・安心」には配慮してきました。

ところが昨年は「第9回真光寺川まつりー2010」を予定しましたが、中止に追い込まれてしまいました。原因は流れがきたなくなってしまうからです。

昨年の経緯は年初ごろから流れが次第に黒ずみ、また川一面に浮かぶ大量の泡が見られるようになってきました。私どもは懸念を深めていましたが、5月中旬、上流に十数匹の鯉の死骸が浮かびました。原因ははっきりしませんが、広袴公園に大量に発生したアオコも何か関りがあるのではないかとわれています。その後水質は一向に改善の兆しは見られませんでした。子供たちの安心・安全が保障できませんので「真光寺川まつり」開催は中止せざるを得ませんでした。私どもにとり痛恨の極みでした。

今年は「真光寺川まつり」を是が非でも再開したいと願い、私どもなりに水質改善に努力し、又行政の関係先にも相談してまいりました。しかし、昨年と同じような経緯を辿りつつあるように思われます。

散歩する方々も口々に流れがきたなくなってきたとおっしゃっています。相変わらず大粒の泡が大量に見られます。4月末、広袴公園に大量のアオコが発生しました。このまま推移すれば、今年も「真光寺川まつり」を中止せざるをえないのではないかと懸念を深めています。

本年1月30日、町田フォーラムで開催された「まちカフェ！」のシンポジウム「市民協働と地域活動の関わり」においては事例報告をする機会が与えられ、地域活性化のためには行政との一層の協働を改めて認識いたしました。

つきましては、次の諸点につきご協力頂きますようお願いいたします。

- 1, 私どもは「真光寺川まつり」開催の目途として、国土庁や東京都で設定した「鶴見川水系河川整備計画」の「ふれあい等級における目標水質」（別添）の確保をを目指して